

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)

【公開番号】特開 2000-92440 (P2000-92440A)
【公開日】平成 12 年 3 月 31 日 (2000.3.31)
【出願番号】特願 平 10-282003

【国際特許分類 第 7 版】

H 0 4 N 5/91
H 0 4 N 5/225
H 0 4 N 5/907
H 0 4 N 5/92

【F I】

H 0 4 N	5/91	Z
H 0 4 N	5/225	Z
H 0 4 N	5/907	B
H 0 4 N	5/91	J
H 0 4 N	5/92	Z

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 9 月 4 日 (2003.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、
画像を再生するときに、前記記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定する整合性判定手段と、
前記整合性判定手段による判定の結果、記録画像に対応するサムネイル画像がない場合に該記録画像からサムネイル画像を生成して前記記録用メモリに記録するサムネイル画像付加手段と、
前記整合性判定手段による判定の結果、サムネイル画像に対応する記録画像がない場合に該サムネイル画像を削除するサムネイル画像削除手段と、
を備えたことを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項 2】

被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、
前記電子スチルカメラの電源オンを指示する電源オン指示手段と、
この電源オン指示手段により電源オンが指示された場合に、前記記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定する整合性判定手段と、
前記整合性判定手段による判定の結果、記録画像に対応するサムネイル画像がない場合に該記録画像からサムネイル画像を生成して前記記録用メモリに記録するサムネイル画像付加手段と、
前記整合性判定手段による判定の結果、サムネイル画像に対応する記録画像がない場合に該サムネイル画像を削除するサムネイル画像削除手段と、
を備えたことを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項 3】

前記整合性判定手段による判定の結果、サムネイル画像と記録画像の属性が不整合の場合

に該サムネイル画像の属性を記録画像の属性に一致させる属性整合手段を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の電子スチルカメラ。

【請求項 4】

前記記録用メモリは電子スチルカメラに着脱可能に構成された記録用メモリであることを特徴とする請求項 1 , 2 または 3 記載の電子スチルカメラ。

【請求項 5】

前記サムネイル画像付加手段は記録画像からサムネイル画像を生成して前記記録用メモリに記録すると同時に該記録用メモリに構築されているディレクトリに該サムネイル画像の画像情報を追加登録することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の電子スチルカメラ。

【請求項 6】

前記サムネイル画像削除手段は前記記録用メモリに構築されているディレクトリからサムネイル画像情報を削除することによりサムネイル画像を削除することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の電子スチルカメラ。

【請求項 7】

被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、前記記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定し、前記整合性判定の結果、記録画像に対応するサムネイル画像がない場合に該記録画像からサムネイル画像を生成して前記記録用メモリに記録することを特徴とするサムネイル画像と記録画像の整合性自動メンテナンス方法。

【請求項 8】

被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、前記記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定し、前記整合性判定の結果、サムネイル画像に対応する記録画像がない場合に該サムネイル画像を削除することを特徴とするサムネイル画像と記録画像の整合性自動メンテナンス方法。

【請求項 9】

被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、前記記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定し、前記整合性判定の結果、サムネイル画像と記録画像の属性が不整合の場合に該サムネイル画像の属性を記録画像の属性に一致させることを特徴とするサムネイル画像と記録画像の整合性自動メンテナンス方法。

【請求項 10】

被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、前記記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定する整合性判定手段と、
前記整合性判定手段による判定の結果、記録画像に対応するサムネイル画像がない場合に該記録画像からサムネイル画像を生成して前記記録用メモリに記録するサムネイル画像付加手段と、
を備えたことを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項 11】

被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、前記記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定する整合性判定手段と、
前記整合性判定手段による判定の結果、サムネイル画像に対応する記録画像がない場合に該サムネイル画像を削除するサムネイル画像削除手段と、を備えたことを特徴とする電子スチルカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、第9の発明のサムネイル画像と記録画像の整合性自動メンテナンス方法は、被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定し、整合性判定の結果、サムネイル画像と記録画像の属性が不整合の場合に該サムネイル画像の属性を記録画像の属性に一致させることを特徴とする。

また、第10の発明の電子スチルカメラは、被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定する整合性判定手段と、整合性判定手段による判定の結果、記録画像に対応するサムネイル画像がない場合に該記録画像からサムネイル画像を生成して記録用メモリに記録するサムネイル画像付加手段と、を備えたことを特徴とする。

また第11の発明の電子スチルカメラは、被写体画像を取込んで所望の画像を記録用メモリに記録する電子スチルカメラにおいて、記録用メモリに記録された記録画像とサムネイル画像の整合性を判定する整合性判定手段と、整合性判定手段による判定の結果、サムネイル画像に対応する記録画像がない場合に該サムネイル画像を削除するサムネイル画像削除手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

また、第8の発明のサムネイル画像と記録画像の整合性自動メンテナンス方法によれば、パソコン等の外部装置側で画像を削除した場合にも、デジタルカメラ側で自動的にサムネイル画像を削除するので記録画像とサムネイル画像の自動整合化ができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0087】

また、第9の発明のサムネイル画像と記録画像の整合性自動メンテナンス方法によれば、パソコン等の外部装置側で記録画像またはサムネイル画像の属性を変更した場合にも、デジタルカメラ側で自動的にサムネイル画像の属性を記録画像の属性に一致させるので、読み出し専用であるはずの画像のサムネイル画像の属性が読み出し専用になっていなかったために、ファイルに情報を書込んだりするような間違いが生じない。

また、第10の発明の電子スチルカメラによれば、記録画像の追加等により対応するサムネイル画像がない場合にサムネイル画像を生成して付加することができる。

また、第11の発明の電子スチルカメラによれば、記録画像は削除されているが対応するサムネイル画像が残っている場合にサムネイル画像を削除することができる。